

プログラム

1日目 : 9月30日(土)

(敬称略)

8:30~9:15	受付
9:15~9:20	挨拶
9:20~10:40	応用行動分析(ABA)とその応用 長瀬 慎一 (NPO法人 さるく) ある行動(B)が起きる時に、その行動を引き起こす要因(A)があり、その行動が起こることにより引き起こされる周りの行動(C)があります。応用行動分析では、ABC分析を行うことにより、行動を客観的に理解することの重要性を学びます。
10:50~12:10	TEACCHに学ぶ自閉症への教育・福祉 渡邊 倫 (たすく株式会社) TEACCHプログラムは、自閉症の方やそのご家族・支援者を対象にした包括的なプログラムであり、今回、その基本的な考え方の1つである「構造化」の視点から自閉症の教育・支援を考えます。
13:10~14:30	認知発達治療(太田ステージ)とその応用 武藤 直子 (心の発達研究所 親子相談センター 日本自閉症協会 専門相談員) 自閉症は、知的障害が最重度から高い知能まで幅広いことが特徴の一つです。約半数は知的障害を伴います。太田ステージは、6つの課題で簡便に発達を掴めます。それによって対象の方々の内的世界を理解することができます。認知発達治療ではステージに合わせた対応が呈示されています。日々の適切な支援は問題行動の予防や減弱に繋がります。
14:40~16:00	TAO(最新研究の応用と実践) 佐々木 敏宏 (社会福祉法人 けやきの郷) 教育・福祉の分野では多様なニーズに応じていくことが求められ、今までより高い専門性が必要とされています。欠かすことのできないことが、最新研究を理解し現場で生かすことです。その実際を学びます。 ※TAOは、「太田ステージを基盤においたTEACCHとABAの応用」の略称です。

2日目 : 10月1日(日)

8:45~9:00	受付
9:00~11:30	分科会 長瀬 慎一(NPO法人 さるく) 渡邊 倫(たすく株式会社) 武藤 直子(心の発達研究所 親子相談センター 日本自閉症協会 専門相談員) 佐々木 敏宏(社会福祉法人 けやきの郷) 講師とともに(各20名/4クラス)、事例を行動障害に絞って、各講師の方法論のもと、インシデントプロセス法を用いながら様々なアプローチによる検討を行います。1セッションごとに講師が入れ替わります。(講師はお選びいただけません)
12:30~14:30	セッション II
14:45~15:45	全体会 ※インシデントプロセス法・・・参加メンバーが相互にインシデント(出来事)を提示し、その背景の事実を質問形式で引き出しながら課題解決を考えていく研修技法。参加者には事前にインシデントを1事例提出していただき、当日各クラスでその内容を簡単に発表していただきます。そして、その中から2例を検討課題として選びます。

講師及び演題、講義の時間については変更することもあります。